

---

## ● 営業マンレポート ●

---

★ 占部 浩樹（うらべ ひろき） 担当エリア： 札幌市内（厚別区・白石区）千歳・胆振・日高 ★

### 【 担当営業から 】

入社6年目（結婚2年目）の占部と申します。最近のマイブームは火鍋です。お目にかかれていない方も多くいらっしゃるかと存じます。勉強不足の私のような者の記事が皆様に読まれると考ただけでキーボードを打つ手が震え文面にもにじみ出ているかと思いますが、今回皆様にはフィルタのかかっている生のユーザー様のご意見をお届けしようと思ひます。

### 【 お客さま紹介 】 医療法人社団 三樹会病院

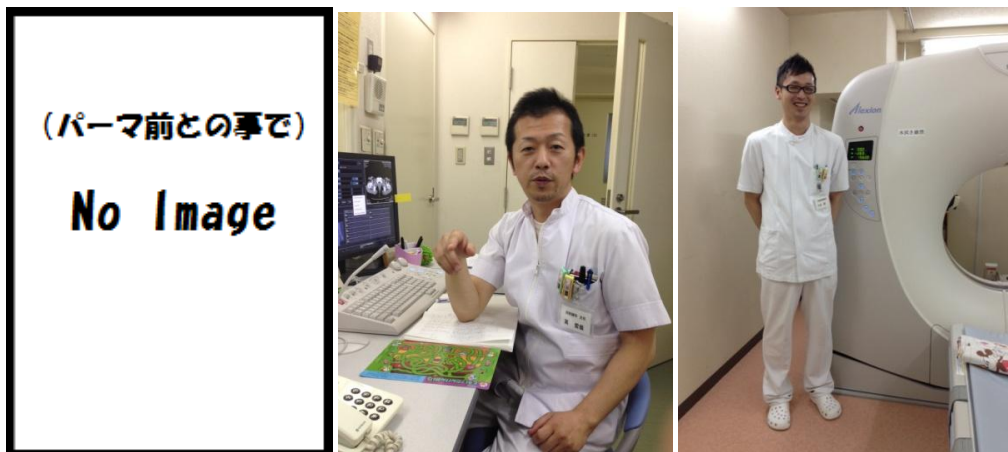
ホームページ：<http://www.sanjukai.or.jp/>

今回は2012年、当社16列CTであるAlexionをご購入頂いた三樹会病院様をご紹介いたします。ご存知の方も多いかと存じますが、こちらは北海道初の泌尿器科専門病院であり、1984年に国内で始めて体外衝撃波（ESWL）による碎石装置を導入された施設です。導入当時は日本全国から患者さんが訪れたそうです。



### 【 お客さまインタビュー 】 医療法人社団 三樹会病院 放射線科長 小島 良子 様

口まず、読者の皆様へ私から放射線の皆様をご紹介します。まず左が、今回インタビューにお答え頂く小島科長です。中央の方は萬（よろず）主任、右は小川技師様です。科長、また髪型を変えられるのですか。



※科長のお写真の掲載ご辞退につきましては、安全上の理由もございますとの事です。

□では早速、小島科長の経歴を教えてください。

1980年 北海道大学医学部付属診療放射線技師学校 卒業

中村脳神経外科病院、白石脳神経外科病院、宮の森脳神経外科病院 等を経て、

1989年より 三樹会病院 入職

現在に至ります。

□検査内容、検査数などについて教えてください。

泌尿器なので腎臓、前立腺などの腹部メインですが、胸部もたまに撮ります。1日40件前後撮ります。

□装置導入の経緯を教えてください。

以前使用していた Asteion Multi (4列) は管球交換をおよそ3年毎に行っておりました。当時、交換時期が近づいた事を機に中嶋院長が AIDR3D による被曝低減を期待して導入を決められたようです。もちろん現場としては対応に満足している東芝を希望していましたよ。

□ありがとうございます。実際、使われてみていかがですか。

撮影時間よりも再構成の速度が速くなった事に以前の装置との違いを感じます。CPUの進歩でしょうか。以前は患者さんを下ろしても再構成が終わってなかったので、今考えると少しストレスを感じていました。その点、現在はフィルム出しまでが早くなり、検査全体のスピードアップが出来たという意味で満足しています。



装置更新に伴い床の色をピンク色に変更。科長のこだわりのポイントです。右写真のパネルは中嶋理事長に監修頂きました。読んでいる患者さんが多いようで、低被曝への関心をお持ちだということが伺えます。

□肝心の低被曝についてはいかがでしょうか。

正直、体格の大きい患者さんはあまり条件を落とせていない印象です。また胸部では Dr の好みもあると思いますが前の装置の条件を前提とした画質を期待されてしまうので、まだまだ工夫が必要だと思います。東芝のアプリの方にピッチや関数を変えるようにアドバイスを頂いて助かっているのでユーザーの皆さんもどんどん相談されると良いと思います。前回の装置のときには意識していなかったので正確には判りませんが、腹部に関しては mAs を落としているようなので以前より低被曝で撮影できていると思います。

□装置にはまだまだ改善の余地がありそうですね。最後に、ユーザー会へ一言お願いします。

ユーザー会の発足、おめでとうございます。皆様と情報を交換・共有し、最終的に患者さんにフィードバックできれば良いなと思います。